

JaLaChamp 2024

Japanese Language Championship for Young Learners UK

Application Guideline



1. 目的

日本語を学んでいるみなさん、今、世界は急速に変化しています。テクノロジーが発達して、コンピュータやスマートフォンなどを使えば、だれでも世界にメッセージを発信できるようになりました。このような時代に必要なのは、「どんなメッセージを伝えるのか」、そして「どうやってそのメッセージを伝えるか」です。声で伝える、文字で伝える、ビジュアルを使って伝える、デザインで伝える。このように伝え方の手段もいろいろあります。このような様々な選択肢を組み合わせ、相手にわかるように伝え方を工夫することは、とても重要なポイントです。

このイベントは、英国で日本語を学んでいる小中高生のみなさんが日本語を使って自分たちの考えたことやアイデア、メッセージを発信するコンテストです。スピーチカテゴリーとテーマに沿ったビデオ作品を作って応募するビデオカテゴリーがあります。挑戦したいカテゴリーを選んで、ぜひ応募してください。ビデオカテゴリーは、個人でもグループでも応募できます。

2. 部門および応募資格

- ・英国内で日本語を勉強している小中高生が応募できます。カテゴリーごとの応募資格は次の通りです。詳細は、各カテゴリーごとのガイドラインをご覧ください。

| カテゴリー | スピーチカテゴリー  | ビデオカテゴリー  |
|----------|---|--|
| 概要 | ・自分で選んだテーマについて、4分以上5分以内のスピーチをする。 | ・テーマに沿ったビデオ作品を、個人またはグループで作成する ・年齢および日本語のレベルによって、小学生部門、中高生部門1、中高生部門2の3部門 ・テーマおよびビデオの時間は部門により異なる |
| 応募人数 | ・個人 | ・個人でもグループでも応募可 |
| 応募資格 | ・外国語として日本語を学ぶ中高生* ・6歳の誕生日以降に6か月以上の日本滞在経験のある人や家庭内で日本語を日常的に使う人は 応募不可 | ・英国在住で日本語を勉強している人* ・日本に滞在した経験のある人、家庭内で日本語を日常的に使う人も応募可 |
| 日本語のレベル* | ・B1程度** ・または、すでにGCSEを受験したレベル、または同等の日本語レベル | ・小学生部門:A1-A2程度** ・中高生部門1:A1-A2程度** ・中高生部門2:B1程度** |

* 過去のJaLaChamp決勝大会の各部門の優勝者は同じ部門に応募することはできません。

** 日本語のレベルはこちらを参考にしてください。

A1レベル:自分の好きなことやものについての簡単な紹介を、写真などを見せながらすることができる。

A2レベル:自分の好きなことやものについて、それは何か、どんなもの/ことなのか、なぜ好きなのかなどを簡単な日本語で説明することができる。

B1レベル:身近なテーマについて、自分の調べたことや発見したこと、考えたことなどについて、事前に準備していれば順序だてて説明することができる。

もっと詳しく知りたい人は、[こちら](#)をご覧ください。

3. 応募締め切りと今後のスケジュール

カテゴリーによって締切が異なりますので、ご注意ください。

- ・スピーチカテゴリー: 2023年 **12月6日** (水) 15:00 GMT
- ・ビデオカテゴリー: 2024年 **1月24日** (水) 15:00 GMT

| スピーチカテゴリー | ビデオカテゴリー |
|--|--------------------------|
| 2023年10月～ 応募受付開始 | |
| 12月6日(水) 15:00 GMT 締切 | |
| 予選 | 1月24日(水) 15:00 GMT 締切 |
| 1月下旬～2月上旬 予選結果通知 | 予選 |
| | 2月下旬～3月上旬 予選結果通知 |
| 5月11日(土) JaLaChamp 2024 Finals Day | |

4. 決勝大会

2024年5月11日(土)にロンドンの会場(Japan House London, 101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA)にて決勝大会を行います。詳細は、後日お知らせいたします。

ファイナリストに選出された応募者は、決勝大会への出席をお願いします。

5. 応募方法

- ・日本語の先生を通して応募してください。
- ・カテゴリーごとに注意事項が異なります。それぞれのカテゴリーのガイドラインを確認してください。

➡ [スピーチカテゴリー](#)  ➡ [ビデオカテゴリー](#) 

6. 問い合わせ先

The Japan Foundation, London
E-mail: speechcontest@jpf.go.jp
Tel: 020 7492 6570

スピーチカテゴリー

[→ Top](#)

[→ Video Category](#)

スピーチカテゴリーは、外国語として日本語を学ぶ中高生が自分の考えや伝えたいこと、主張したいことをスピーチとして発表する部門です。

1. 出場資格

以下の条件をすべて満たしている人が出場できます。

- ・英国内で日本語を外国語として学んでいる中学生・高校生
(塾やプライベートレッスンなど、学校以外の場所で勉強している人も応募できます)
- ・日本語のレベルが **JF スタンダード** および **CEFR の B1 程度以上*** (目安: Post-GCSE)
- ・**6 歳の誕生日以降に日本に 6 か月以上滞在したことがない**
- ・**家庭内に日本語母語話者がおらず、家庭内で日常的に日本語を使っていない**
- ・過去の JaLaChamp スピーチカテゴリーで優勝したことがない

*日本語のレベルはこちらを参考にしてください。

B1 レベル: 身近なテーマについて、自分の調べたことや発見したこと、考えたことなどについて、事前に準備していれば順序だてて説明することができる。

もっと詳しく知りたい人は、[こちら](#) をご覧ください。

2. スピーチのテーマ・長さ

テーマ: 自由

- ・ただし、スピーチには必ずタイトルをつけてください。
- ・また、伝えたいポイントを明確にし、なぜそれを伝えたいのかについても自分の意見を表明してください。

長さ: 4 分以上 5 分以内

注意: ・グループでスピーチを書くことはできません。応募する人が自分で書いて、自分でスピーチをしてください。

- ・ガイドラインを満たしていないスピーチは、失格とします。

3. 審査基準

次の観点で審査されます。なお、審査内容は公開されません。

| 観点 | 基準 | |
|----|--------------|---|
| 1 | テーマの独創性 | オリジナリティがあるか、自分の考えや視点が表明されているか、タイトルと内容が合致しているか |
| 2 | スピーチの構成 | 説得力のある、あるいは聞き手の共感を得る構成になっているか |
| 3 | 日本語 | 発音と流暢さ |
| | | 文法と語彙(正確さ、適切さ、範囲など) |
| 4 | プレゼンテーションスキル | 聴衆を意識した話し方になっているか(声の大きさ、間の取り方、アイコンタクト、ジェスチャーなど) |
| 5 | Q&A | 質問者とやり取りができていないか(スピーチの原稿と同レベルのやり取りができていないか) |

4. 応募方法

(1) 応募する生徒のみなさん>

次の2つのファイルを準備して、日本語の先生*に渡してください。

① スピーチを録音した音声ファイル

フォーマット: MP3

ファイルの名前: '姓_学校名'

E.g. 'Smith_Brookes' if your name is M Smith and your school is Brookes School.

声が大きくはっきりと聞こえることを確認してください。

② スピーチのスク립ト

フォーマット: Microsoft Word、PDF、あるいは手書きをスキャンしたもの

ファイルの名前: '姓_学校名'

E.g. 'Smith_Brookes' if your name is M Smith and your school is Brookes School.

言語: 日本語

*塾やプライベートで日本語を勉強している人は、その日本語の先生を通して応募してください。また、平日に毎日通っている学校の先生にも応募することを伝えてください。

(2) 日本語の先生方>

- ・オンラインフォームで申し込みをお願いします。応募受付は2023年10月に開始します。応募フォームのURLは以下のページにてご確認ください。2023年10月に応募フォームのURLが公開されます。

<<https://www.jpff.org.uk/whatson.php#1296>>

- ・なお、応募する生徒のファイルは、WeTransfer、OneDrive や Google Drive 等にアップロードして、その共有用のリンクを取得し、リンクをオンラインフォームに入れてください。

※学校のアカウントを使う場合は、外部のアドレスとファイルを共有できる設定になっているかどうかをご確認ください。

※応募する生徒の保護者にも、本イベントに応募することについての了解を得てください。

※ファイナリストに選出された場合は、後日、決勝大会への出場とビデオ撮影に関する同意書に保護者の署名をもらい、提出していただきます。

5. 応募締切

2023年12月6日(水) 15:00 GMT

6. 決勝大会

2024年5月11日(土)にロンドンの会場(Japan House London, 101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA)にて決勝大会を行います。1月下旬~2月上旬に、予選結果通知をお知らせいたします。ファイナリストに選出された人は、決勝大会への出席をお願いします。

7. 問い合わせ先

The Japan Foundation, London

E-mail: speechcontest@jpf.go.jp

Tel: 020 7492 6570

ビデオカテゴリー

[→ Top](#)

[→ Speech Category](#)

ビデオカテゴリーは、テーマに沿ったビデオ作品を個人またはグループで作成する部門です。テーマに沿って想像力を膨らませ、自由な発想・スタイルでビデオを作ってください。

1. 部門および応募資格

- ・英国で日本語を勉強している小中高生
- ・学校外で日本語を勉強している人や、日本に滞在した経験のある人、家庭内で日本語を日常的に使っている人も応募することができます。
- ・個人でも6人以内のグループでも応募することができます。
(小学生部門は、クラス単位での応募もできます)
- ・過去の JaLaChamp ビデオカテゴリーで優勝したことがない
(これまでに優勝していない部門には応募することができます。ただし、中高生の部-2の優勝者は中高生の部-1に応募することはできません。)

・次の3つの部があります。

| 部門 | 小学生の部 | 中高生の部-1 | 中高生の部-2 |
|----------|---------------------------------------|---|---|
| 応募資格 | ・小学生 | ・中高生 ・グループ応募の場合は、メンバー全員が中高生 | |
| 日本語のレベル* | ・JF 日本語教育スタンダード/CEFR の A1~A2 レベル程度 | ・JF 日本語教育スタンダード/CEFR の A1~A2 レベル程度 | ・JF 日本語教育スタンダード/CEFR の B1 レベル程度 |
| テーマ** | Where I/We Live わたし 私(たち)の町 | My/Our Talent わたし 私(たち)の得意なこと | What I/We Want to Save for the Future わたし 私(たち)が未来に残したいもの |
| ビデオの長さ | 1分前後 | 1分半~2分半 | 2分半~3分半 |

* 日本語のレベルはこちらを参考にしてください。

A1 レベル: 自分の好きなことやものについての簡単な紹介を、写真などを見せながらすることができる。

A2 レベル: 自分の好きなことやものについて、それは何か、どんなもの/ことなのか、なぜ好きなのかなどを簡単な日本語で説明することができる。

B1 レベル: 身近なテーマについて、自分の調べたことや発見したこと、考えたことなどについて、事前に準備していれば順序だてて説明することができる。

もっと詳しく知りたい人は、[こちら](#)を見てください。

2. 審査基準

次の観点で評価します。日本語の観点は、それぞれのカテゴリのレベルに達していれば、その観点の最高点が得られます。なお審査内容は公開されません。

【小学生の部】

| 観点 | 基準 |
|----------------------------|---|
| 構成 (30%) | 制限時間内に伝えたい内容をバランスよく、効果的に配置している。構成に工夫が感じられ、内容に関し、不十分さを感じない。 |
| テーマの解釈・ 内容の独創性 (40%) | テーマを踏まえ、ビデオに取り上げる場所をしっかりと考えている。また、ビデオで伝えている内容に、自分らしさが表現されている。 |
| 日本語 (30%) | 必ずしも流暢ではなく、語彙や文法の間違ひはあるものの、伝えたいことがよくわかる。 |

【中高生の部】

| 観点 | 基準 | |
|----------------------------|---|---|
| 構成 (25%) | 制限時間内に伝えたい内容をバランスよく、効果的に配置している。構成に工夫が感じられ、内容に関し、不十分さを感じない。 | |
| 映像表現力 (25%) | 場面転換や特殊効果、音声、字幕やタイトルのフォント、色、配置、またナレーションの使い方等を含むビデオ表現、編集に工夫がこらされている。 | |
| テーマの解釈・ 内容の独創性 (25%) | 【中高生の部-1】 テーマを丁寧に解釈し、ビデオに取り上げる内容を吟味したり、取り上げるもの／ことの説明や好きな理由などを丁寧に説明したりして、説得力がある。ビデオで伝えている内容に自分らしさが表現されている。 | 【中高生の部-2】 テーマを丁寧に解釈したうえで、よく調べたり考えたりしている。着眼点がユニークで個性的である。 |
| 日本語 (25%) | 必ずしも流暢ではなく、語彙や文法の間違ひはあるものの、伝えたいことがよくわかる。 | 調べたことや考えたことなどを過不足なく、わかりやすく順序だてて並べて伝えている。文法的な間違ひは見られるものの、発音はわかりやすく、比較的流暢で聞きやすい。伝えたいことを伝えるのに必要十分な語彙や表現をもっている。 |

3. ビデオ制作ガイドライン

ビデオの制作にあたっては、以下のガイドラインをよく読んでください。ガイドラインに沿わない作品は失格とします。

3.1 形式・スタイル

- ・テーマにあった制限時間内のビデオ作品を作ってください。
- ・発表形式、ドラマ形式、写真やアニメーションを使った編集など、自由なスタイルで作ってください。
- ・ビデオ作品には英語タイトルをつけ、ビデオの中のどこかで必ずそのタイトルを表示してください。
 - ★タイトルは、部ごとに与えられたテーマと同じ名前をつけるのではなく、ビデオの内容が分かるような、オリジナルのタイトルを付けてください。
 - ★日本語のタイトルをつけたい場合は、必ず英語タイトルをつけた上で、日本語のタイトルもビデオの中に入れてください。
- ・ビデオの最後には必ずクレジット (学校名、ビデオ制作にかかわった人の名前など)を入れてください。クレジットまで含めて、制限時間内に収めるように編集してください。クレジットについては3. 4も必ず確認してください。
- ・提出するビデオは MP4 形式にしてください。

3.2 言語

- ・ビデオには、必ず日本語で話している声を入れてください。
- ・また、英語の字幕を入れてください。

3.3 ビデオ制作メンバー

- ・ビデオ制作は個人でもグループでもできます。
- ・ただし、1人で複数のビデオ制作にかかわることはできません(複数作品の応募はできません)。つまり、1人で複数のグループのビデオ制作に参加したり、個人とグループの両方でビデオ制作に参加したりはできません。
- ・「2」の出場資格にある教育段階の児童生徒であれば、だれでも応募できます。日本で生まれた人や日本に滞在経験のある人も応募できます。
- ・小学生部門は、日本語の先生にビデオ制作を手伝ってもらうことができます。中高生部門は、先生の力を借りずに、自分たちでビデオを作ってください。
- ・基本的に日本語の先生を通して応募してください。学校以外で日本語を勉強している場合は、学校の先生にも応募することを伝えてください。

(1) 個人応募の場合:

- ・一人でビデオを作ってください。応募者が話したり、何かをしている様子を撮影するときだけ、家族や友人などに撮影してもらうことができます。

(2) グループ応募の場合:

- ・グループの人数
 - 小学生部門: クラス単位で応募できます。
 - 中高生部門: 6人まで
- ・グループは必ず同じ学校のメンバーで構成してください。学校以外の場所(補習授業校や塾など)で日本語を勉強している人は、一緒に日本語を勉強している人とメンバーを作ってもかまいません。

- ・違う学年の人とグループを作ってもかまいません。ただし、大学生を入れることはできません。また、小学生と中学生と一緒にグループを作ることもできません。
- ・日本語を勉強していない人がグループにいてもかまいません。つまり、日本語を話さない人がいてもかまいません。撮影や編集など、それぞれが得意なスキルを持ち寄って協力してビデオ作品を作ってください。
- ・グループ名をつけてください。
- ・ビデオにはクレジットを必ず入れてください。クレジットには、グループ名、グループメンバーの名前(ニックネーム可)とビデオ制作で果たした役割を必ず入れてください。クレジットについては、3.4 を見てください。

3.4 クレジットについて

・クレジットには次の情報を英語で必ず入れてください。

a) 学校名

- ・プライベートで日本語を勉強している人は、平日、毎日通っている学校の名前を入れてください。
- ・塾などで日本語を勉強している人は、塾の名前と平日、毎日通っている学校の両方の名前を入れてください。

b) グループ名(グループ応募の場合、英語と日本語のどちらかもしくは両方)

c) ビデオ制作にかかわった人の名前(応募者)と役割

- ・ニックネームでもかまいません。
- ・小学生部門でクラス単位の応募の場合は、全員の名前を入れなくてもかまいません。

d) BGM や写真等の引用情報(ある場合)

※3.1に記載の通り、タイトルもビデオのどこかに入れてください。

※ファイナリストに選出された場合、ビデオの中に入っているタイトルとクレジットに記載されている学校名とビデオ制作にかかわった人の名前(もしくはニックネーム)を、決勝大会のプログラムや報告書等の広報に使わせていただきます。

先生へ

- ・1校から応募できるビデオの数に制限はありません。たくさんの応募をお待ちしています。
- ・応募登録については「4」をご確認ください。
- ・応募する生徒の保護者に、コンテストへの応募について了解をもらっておいてください。
- ・ファイナリストに選出された場合は、保護者から決勝大会への出場とビデオ使用に関する同意書に署名を取り付け、提出していただきます。

3.5 著作権・肖像権

・自分たち以外の方が制作した音楽や写真、イラストなどには、著作権があります。ビデオにBGMを入れたり、する場合には、Royalty FreeもしくはCreative Commons license for attribution (BY) and non-commercial use (NC)のものを使ってください。

***アニメや漫画、テレビや映画などの素材は使わないでください。**

- ・人物の写真や映像には、肖像権があります。ビデオの撮影をするときに、グループメンバー以外の人の顔が映らないように気を付けてください。あるいは許可を取って下さい。
- ・企業や団体、ブランドのロゴを許可なしに使うことはできません。店などで撮影するときには、店の人の許可を得てください。
- ・著作権や肖像権の問題が生じたときには、Japan Foundation は責任を負いません。

- ・著作権や肖像権について分からないときは、Citizenship studies や Design and technology の先生などにも相談してみてください。

4. 応募方法

- ・制作したビデオを日本語の先生に渡してください。
- ・先生へ >

オンラインフォームで申し込みをお願いします。応募受付は 2023 年 10 月に開始します。

応募フォームの URL は以下のページにてご確認ください。(2023 年 10 月に応募フォームの URL が公開されます。

<<https://www.jpff.org.uk/whatson.php#1296>>

なお、応募する生徒のビデオのファイルは、WeTransfer, OneDrive や Google Drive 等にアップロードして、その共有用のリンクを取得し、リンクをオンラインフォームに入れてください。

※学校のアカウントを使う場合は、外部のアドレスとファイルを共有できる設定になっているかどうかをご確認ください。

5. 応募締切

- ・2024 年 1 月 24 日 (水) 15:00GMT

6. 決勝大会

2024 年 5 月 11 日 (土) に優秀作品の上映会および表彰式を行います。

優秀賞に選ばれたビデオの制作者には、2 月下旬～3 月上旬ごろに表彰式についてお知らせしますので、出席をお願いします。

7. 問い合わせ先

The Japan Foundation, London

E-mail: speechcontest@jpf.go.jp

Tel: 020 7492 6570

[→ Top](#)

[→ Speech Category](#)

[→ Video Category](#)